

地震により燃料や食料品が不足しています。 買いだめは控えるよう ご協力をお願いします。

被災地域では、施設や道路、交通機関が大きな被害を受け、灯油などの燃料や食料品などあらゆる物資が不足しています。

このため、国内の物資を被災地に優先的に運んでいることで、市内でも燃料や食料品が不足していますが、これは一時的なもので、徐々に平常化に向かうと思われれます。

皆さんには、不用不急な買いだめは控えるようご協力をお願いします。

ガソリン・灯油・食料 要量が確保されています

被災地に物資を優先的に配送しているため、一時的に納品が遅れているだけで、国内には必要十分な量が確保されています。あわてて買いだめする必要はありません。

特にガソリンスタンドでは、給油待ちの車が車線を狭め、渋滞を発生させて通行を妨げています。

その結果、被災地への救援物資の配送の遅れや市内への配送の遅れにも影響を及ぼす恐れがあります。

徐々に物流は平常化しますので、不確かな情報に惑わされず、冷静に対応しましょう。

「計画停電」の情報を把握してください

東北電力では、電気の供給力不足により予期せぬ大規模な停電に陥らないよう、「計画停電」を実施する可能性があります。

3月に予定されていた計画停電は、供給量が増加したことから一部の日程が中止されましたが、今後も「計画停電」が行われる可能性があります。実施する際は随時発表することになります。

テレビやラジオなどで常に最新の情報を把握するとともに、皆さんは日ごろから節電を心掛けましょう。

東北電力コールセンター
☎0120-175-566

節水にご協力ください

計画停電が実施されても、断水になることはありません。しかし、浄水場などで使用する薬品の供給不足が原因で、配水に支障が出る可能性があります。引き続き、各家庭での節水にご協力をお願いします。

① 停電などのあと、蛇口から白く濁った水が出る場合もありますが、これは空気が混じっているためで害はありません。そのままご使用ください。

② 蛇口から茶色く濁った水が出る場合は、少しの間水を流したままにして、きれいになってからご使用ください。

水道課管路維持係 ☎43-7140

停電時の火の取り扱い にご注意ください

計画停電が行われるときは、火気の取り扱いにご注意ください。

① 普段使っていない石油ストーブを使用するときは、十分に点検し、変質した灯油は使用しないでください。また、室内で石油ストーブやガスコンロを使用するときは、一酸化炭素中毒にならないよう定期的に換気しましょう。

② 夜間の明かりにろうそくを使用するときは、周囲に燃えやすい物を置かない、不安定な場所に置かない、その場を離れないなど十分注意しましょう。

消防本部予防課予防係

☎43-4151



開設された避難所に自主避難した市民（12日、中央公民館）